



特集

令和2年度 小牧市施政方針と予算

安全・安心で 魅力と活力あふれる 夢ある小牧市へ。

2月28日、令和2年小牧市議会第1回定例会が開会され、山下市長が令和2年の市政運営の基本方針となる施政方針を述べ、同議会で令和2年度予算が議決されました。

今回の特集では、小牧市の施政方針と当初予算の主な内容についてお知らせします。



小牧市長

しずお
山下 史守朗

はじめに

令和2年小牧市議会第1回定例会の開会にあたり、市政運営に係る私の所信を申し述べますとともに、令和2年度当初予算案につきまして、主要な施策とその概要をご説明申し上げ、議員各位並びに15万余市民の皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

「平成」から「令和」へと元号が改まり、記念に残る大きな節目の年となった昨年は、本市におきましても、過去最大級の事業となりました「新小牧市民病院」の開院をはじめ、「こまき新産業振興センター」や小牧山城史跡情報館「れきしるこまき」のオープン、誉高等学校野球部による小牧市初の甲子園出場、そして「第1回こまき令和夏まつり」の開催など、まさに新しい時代の幕開けにふさわしい年となりました。

新型コロナウイルス感染症への対策について

新型コロナウイルス感染症対策については、小牧市としても、国や県と連携を密にし、今後も最大限の感染拡大防止のための措置を講じてまいります。

市民の皆様には、ご不便をおかけしますが、引き続き感染予防の取り組みにご協力をお願いいたします。



明けて令和2年は、本市の市制施行65周年の年であり、「小牧市まちづくり推進計画 第1次基本計画」の本格的な運用が始まる重要な年でもあります。これまでの歩みを止めることなく、市民の皆様とともに未来をしっかりと見定めて、更に次のステージへと新たな一歩を踏み出してまいりたいと存じます。

魅力と活力あふれる
夢ある小牧市を目指して

改めて申し上げます

が国が高齢化と人口減少が同時進行する、未だかつてどの国も経験したことのない未曾有の時代に突入しており、AIやIoT、自動運転、ドローンなどに代表される情報通信技術の劇的な進歩などと相まって、社会の有り様がこれまでにならぬほど、急激な変化に直面する激動の真っ只中にあります。

先行き不透明で変化の激しい時代にあつて、個人も企業も自治体も、未来を切り拓く新たなチャレ

ンジが強く求められています。

こうした中、すべての世代の市民が支え合い、安全、安心で心豊かに暮らせる、魅力と活力に満ちたまちづくりを進め、将来にわたって持続可能な自治体経営を行うためには、市が主体性を持って変化に対応し、新たに生じてくる課題に真摯に向き合い、失敗を恐れず果敢に挑戦し、自らをも積極的に改革していくことが必要不可欠であります。

そのため、私は、平成23年の市長就任以来9年間、「改革と創造の市政」「チャレンジする市政」を旗印として、市民の皆様や関係各位の力をお借りしながら、将来を見据えた様々な改革と小牧市の明るい未来につながる新

たなチャレンジに全力を注ぎ、信念とスピード感を持って市政を運営してまいりました。

「住みたい」「住み続けたい」小牧市へ

平成26年3月には、「改革と創造の市政」の目指す成果と方策を明らかにするため、市政の最上位計画である総合計画の改定に合わせ「第6次小牧市総合計画 新基本計画」を策定しました。

自治体経営改革戦略会議の議論を経て策定された「新基本計画」は、小牧市においても右肩上がりの時代から右肩下がり時代の突入していくことを見据え、自治体経営改革をも内包した新しいカタチの計画とし、市政の軸となる考え方や戦略を示し、限りある行政の経営資源を各施策により無駄なく最適に配分することで、戦略的かつ効果的、効率的で持続性の高い自治体経営の実現を図ったものであり、この挑戦的な新基本計画の策定自体が一つの大きな行政改革でありました。この新基本計画に基づき、誰もが夢を育み、高齢者をはじめすべての市民が安心して暮らせる、持続

▼市議会第1回定例会（2月28日）において、山下市長が施政方針演説を行いました。



施政方針は、市公式 Youtube でご覧いただけます。



- 0" 00 <はじめに>
- 13" 57 <予算編成方針>
- 16" 20 <市政戦略編>
- 29" 21 <安全・環境>
- 35" 00 <健康・福祉>
- 42" 11 <文化・スポーツ>
- 45" 00 <産業・交流>
- 46" 53 <都市基盤・交通>
- 50" 19 <自治体経営>
- 54" 37 <令和2年度予算規模>
- 56" 42 <おわりに>

可能な活力あふれる夢ある小牧市の創造に向けて、市民や議会のご協力のもと、職員と一丸となって全力を挙げてまいりました。

平成27年4月には、まちづくりの基本理念や市民、議会、行政の役割を明確にした「小牧市自治基本条例」を制定し、市民主体の参加と協働によるまちづくりを目指してまいりました。

そして、市民のまちに対する愛着と誇りを醸成するとともに、本市への定住促進を図るべく、「小牧市地域ブランド戦略」による都市ブランドینگを市内外に強力に展開しつつ、平成28年3月には「小牧市人口ビジョン」と「小牧市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を示しながら、魅力と活力に富む「選ばれるまちづくり」に邁進してまいりました。

こうした取組の結果、「小牧市人口ビジョン」の目指す将来人口を、現時点では、2035年まで上回る見込みとなっております。

私は、この流れをさらに改善させるため、「第6次小牧市総合計画 新基本計画」を引き継ぐ、新たな本市



の最上位計

画である「小牧市ま

ちづくり推進計画 第1次基本計画」

に基づき、将来を見据えた更なる改革と課題解決に向けた積極的な施策展開を図り、市内外の皆様に「住みたい」「住み続けたい」と思ってもらいたい「住み続けたい」と思っています。

そして、主体的に小牧市の明るい未来を創造すべく、「改革と創造チャレンジする市政」を一層強力に推進し、安全・安心で持続可能な、将来に輝き続ける、魅力と活力あふれる夢ある小牧市を実現してまいりたいと存じます。

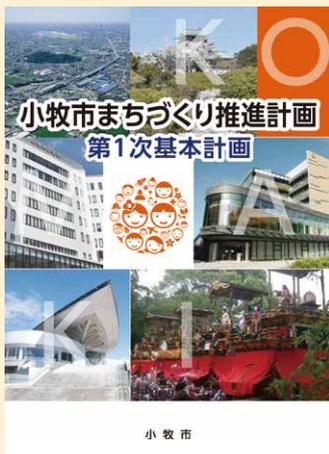
「小牧市まちづくり推進計画」の策定で新たなステージへ

「小牧市まちづくり

推進計画 第1次基本計画」は、小牧市民憲章に掲げる理想のまちを実現するための、小牧市自治基本条例に基づいて策定した初めての計画であります。

この計画の策定に当たっては、これまでの取組の評価検証を行い、時代の流れを踏まえた新たな課題を抽出するとともに、議員各位や市民の皆様、各分野における有識者など多方面の皆様からの多くのご意見を伺いながら、一昨年より策定作業を進めてまいりました。

「都市ヴィジョン」「市政戦略編」「分野別計画編」「自治体経営編」「計画の推進方策」で構成し、基本的な



小牧市まちづくり推進計画

詳細はこちら↓



小牧市民憲章に掲げる理想のまちを実現するための計画で、令和元年度から令和8年度を計画期間とし、4年で見直すこととします。市役所（本庁舎5階）、各市民センターで概要版を配布しているほか、市ホームページでもご覧いただけます。

考え方は「第6次小

牧市総合計画「新基本計画」を継承しつつ、さらに、誰一人取り残さない、持続可能で多様性と包摂性

のある社会の実現を目指すSDGsや、性別・人種・国籍・年齢・障がいの有無などの多様性を活かすダイバーシティの理念を取り入れるなど、持続可能な地域社会の実現を目指す計画といたしました。

今後のまちづくりは、この「小牧市まちづくり推進計画 第1次基本計画」に基づき、これまでの取組を継承した次の3つの「都市ヴィジョン」を機軸として進めてまいります。



「こども夢・チャレンジNo.1都市」

第一に、「こども夢・チャレンジ

No.1都市」であります。

これまで、こども夢・チャレンジNo.1都市宣言や小牧市地域こども子育て条例の制定、こども夢・チャレンジ基金、こども夢サポーター制度、夢にチャレンジ助成金などの創設のほか、児童クラブの受入拡大、学習支援事業「駒来塾」、ひとり親家庭等支援事業などに取り組んでまいりました。

今後も、これまでの取組を引き継ぎながら、家庭環境や境遇にかかわらず、すべてのこども達が健康やかに成長し、夢を育み、チャレンジすることができるよう、そして、来るべき未来社会を見据えて、充実した教育・子育て環境を実現する「こども夢・チャレンジNo.1都市」を目指してまいります。



キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

「健康・支え合い循環都市」

第二に、「健康・支え合い循環都市」であります。

これまで、市民の健康づくりに向けて、小牧市独自の人間ドック制度や健康いきいきポイント制度の創設、各種検診の充実、ウォーキングアプリ「arko」の開発、高齢者外出支援のためのこまき巡回バスの拡充などに取り組み、市民の健康・生きがいづくりを応援してまいりました。

そして、地域協議会の設立・運営支援、支え合いいきいきポイント制度の創設、高齢者サロン事業の推進、在宅医療・介護連携サポートセンターの開設など、支え合いの地域づくりに積極的に取り組んでまいりました。



循環

支え合い

健康

支え合い

活力ある高齢社会（小牧モデル）の実現へ

元気

“元気”と“支え合い”が地域内で循環するまちを目指します。

生きがい

地域の活力



第三に、「魅力・活力創造都市」であります。

これまで、小牧市の将来を見据えて、市内企業の新事業展開、企業の誘致・産業集積の推進や、市内の消費循環を高めるこまきプレミアム商品券発行事業、こまき信長夢夜会などで賑わいを見せる史

「魅力・活力創造都市」

高齢者の割合が増え続ける中、地域で支え合って自分らしくいきいきと安心して暮らし続けることができる「幸せな高齢社会」を実現するため、今後も、健康・生きがいづくり支援と支え合いの地域づくりを両輪に「活力ある高齢社会（小牧モデル）」、「健康・支え合い循環都市」を目指してまいります。

跡小牧山や小牧発祥の名古屋コーチンなどを核とした観光振興などに取組み、小牧市の魅力と活力を高めてまいりました。

今後も、持続可能な魅力と活力あふれる小牧市を実現するため、若い世代や子育て世代が住みたい、住み続けたいと思っていただける魅力あるまちづくりを進めるとともに、地域経済を支援し、地域活性化を図り、バランスの良い産業集積を今後も持続的に高めることにより、経済・雇用・財政の基盤が確立された、将来にわたって輝き続ける「魅力・活力創造都市」を目指してまいります。

以上、私は小牧市長として任期10年目を迎え、市制65周年を迎えた本年も、ただいま申し上げた3つの都市ヴィジョンをまちづくりの機軸として、世代間や地域間のバランスを取



りながら、「こどもが夢を育み、高齢者をはじめ誰もが安心して暮らせる小牧市」、そして、「若い世代や子育て世代が住みたいと、子や孫が住み続けたいと思う、魅力と活力あふれる夢ある小牧市」を創造するため、議員各位並びに市民の皆様と力を合わせて、小牧市の明るい未来につながる更なるチャレンジと、15万余市民の幸せのための市政運営に、決意と信念を持って、引き続き全力で取り組んでまいります。



「こどもが夢を育み、高齢者をはじめ誰もが安心して暮らせる小牧市」、そして、「若い世代や子育て世代が住みたいと、子や孫が住み続けたいと思う、魅力と活力あふれる夢ある小牧市」を創造するため、議員各位並びに市民の皆様と力を合わせて、小牧市の明るい未来につながる更なるチャレンジと、15万余市民の幸せのための市政運営に、決意と信念を持って、引き続き全力で取り組んでまいります。

予算編成方針と令和2年度
予算規模については次ページをご覧ください。

小牧市まちづくり推進計画

3つの「都市ヴィジョン」

- 1 「こども夢・チャレンジNo.1都市」
- 2 「健康・支え合い循環都市」
- 3 「魅力・活力創造都市」

今後のまちづくりの機軸となる大切な「都市ヴィジョン」コマ！



予算編成方針



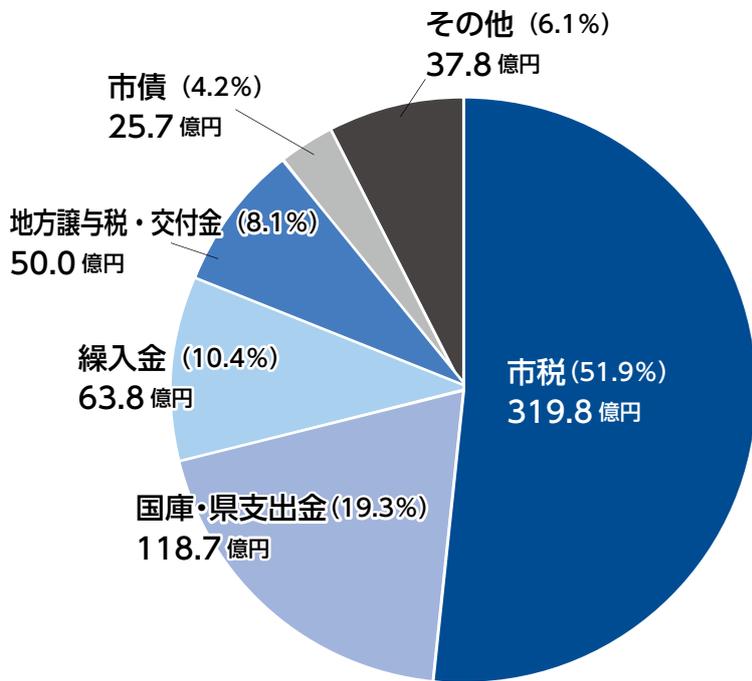
まちづくり推進計画の推進とさらなる行政改革を

本市の財政状況ではありますが、平成30年度決算で、法人市民税が経済情勢、企業の収益動向等を受けて増収となったことなどから、市税収入が2年連続の増収となりました。

しかしながら、少子高齢化の進展に伴う社会保障関連経費の増嵩、公共施設の建替えや改修に要する経費の増加に加え、法人市民税の一部国税化や、幼児教育・保育の無償化、会計年度任用職員制度の導入など相次ぐ国の制度改正が、地方交付税の不交付団体である本市の財政を急激に圧迫してきており、今後の財政運営は一段と厳しさを増していくものと危惧しています。

このような状況の中で、行政だけでなく地域全体で市民が互いに助け合い支え合っていく仕組みを

一般会計の歳入



令和2年度
小牧市の

予算

令和2年度の予算規模といたしましては、一般会計は対前年度当初比12.5パーセント増の615億7600万円、一般会計、特別会計及び企業会計を合わせた全会計の総額は、対前年度当初比4.0パーセント増の1252億5944万3千円となりました。

歳入では、法人市民税の一部国税化と景気減速の影響から、大幅な減額となることなどにより、市税収入は前年度より4億円を超える減収になると見込んでおります。



一般会計・特別会計・企業会計の状況

会計名	令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	増減率 (%)
一般会計	615.8 億円	547.5 億円	12.5
特別会計			
土地取得	68 万円	71 万円	△ 4.4
国民健康保険事業	128.6 億円	132.3 億円	△ 2.8
小松寺土地区画整理事業	0.1 億円	0.2 億円	△ 77.7
文津土地区画整理事業	4.8 億円	4.7 億円	1.8
岩崎山前土地区画整理事業	1.7 億円	1.7 億円	2.9
小牧南土地区画整理事業	4.8 億円	6.0 億円	△ 20.3
介護保険事業	81.8 億円	77.3 億円	5.9
後期高齢者医療	36.7 億円	33.6 億円	9.4
計	258.5 億円	255.8 億円	1.1
企業会計			
病院事業	284.1 億円	302.7 億円	△ 6.1
水道事業	45.5 億円	48.8 億円	△ 6.7
下水道事業	48.7 億円	49.5 億円	△ 1.7
計	378.3 億円	401.0 億円	△ 5.7

※予算額を端数処理しているため、増減率は一致しない場合があります。

一般会計

615 億 7,600 万円 (前年度比 12.5%増)

特別会計

258 億 5,096 万円 (前年度比 1.1%増)

企業会計

378 億 3,248 万円 (前年度比 5.7%減)

全会計合計

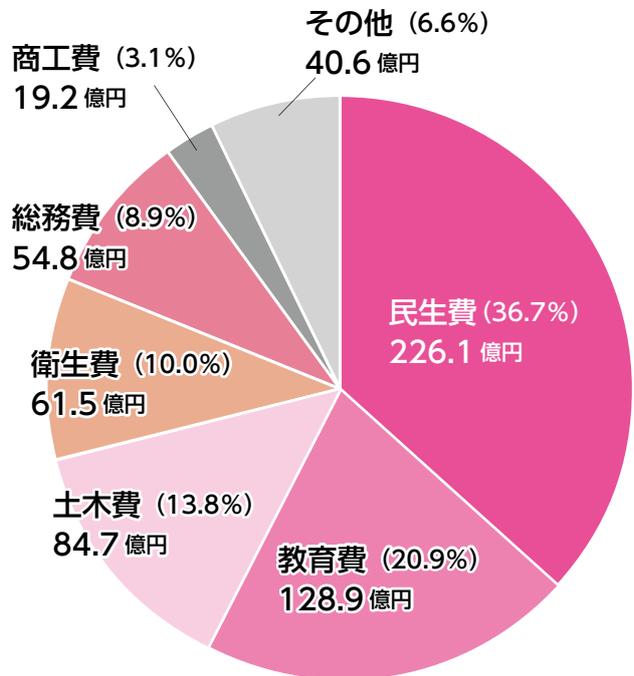
1,252 億 5,944 万円 (前年度比 4.0%増)

※予算規模が大きくなった主な要因については、新図書館、(仮称)こども未来館、小牧南小学校、市営駐車場の整備によるものですが、これらの事業の財源の多くを国庫支出金、基金繰入金、市債で賄っているため、一般財源への影響は少なくなっています。

構築・強化していくとともに、より一層の行政改革を進めることが必要であります。

そこで、令和2年度の予算編成にあたっては、「小牧市まちづくり推進計画第1次基本計画」を推進し、行財政改革の取組などを更に力強く進めるよう努めるとともに、議員各位や市民の皆様からいただいたご意見、ご要望を十分に検討した上で可能な限り市政に反映し、市民の皆様のご期待に十分応え得るよう編成したところであります。

一般会計の歳出



一方、歳出では、相次ぐ国の制度改正が、地方交付税の不交付団体である本市の財政を急激に圧迫するなどしたことから、厳しい予算編成となりました。そのような中で、健全財政の維持と各分野間のバランスに十分留意しながら、市民の安全・安心を最優先としつつ、地域の活性化や少子高齢化への対応などの重要施策については、積極的かつ優先的に予算化するよう努めたところであります。

市民の皆様が小牧に住んでよかったと、あるいは住み続けたいと、そういう気持ちを抱いて暮らしていただくために、3つの都市ヴィジョン「こども夢・チャレンジ No.1 都市」、「健康・支え合い循環都市」、「魅力・活力創造都市」の実現に向けて、小牧市の明るい未来につながる積極型の予算が編成できたものと考えており、令和2年度も小牧市の様々な課題の克服に向けて着実な歩みを刻む一年としてまいります。

夢

創

健

改

今後の事業の一部
を紹介するコマ～



令和2年度予算

新規・拡充等の 主な事業一覧

小・中学校 トイレ改修事業 **拡充**

繰越事業

令和2年度に小学校5校、
中学校2校のトイレ洋式化
工事



小・中学校特別教室 空調機設置事業 **拡充**

繰越事業

令和2年度に中学校特別
教室への空調機設置工事



ビジョン1

「こども夢・ チャレンジ No.1 都市」

(仮称) こども未来 館施設整備事業

令和2年9月上旬の開館に
向けて整備工事、デジタルコ
ンテンツ作成
委託、備品購
入など



子育て世代包括支援セ ンター運営事業 **拡充**

新 ひとり親相談員の増員や、新
たに児童虐待対応専門員を配
置し、こども家
庭総合支援拠点
事業を開始



校内通信ネットワー ク整備事業 **新規**

繰越事業

令和2年度に小中学校の校
内通信ネットワーク整備、無
線LAN接続可能範囲の拡大



青年の家 施設整備事業 **新規**

創垂館復原工事等（令和
3年度完成予定）

小牧南小学校 改築事業

令和4年の早い時期の校舎
完成に向けて改築工事等



英語活動教育 推進事業 **拡充**

小学校英語の教科化・英語
活動の必修化に向け、外国人
英語指導助手(ALT)を12人
配置(2人増員)



(仮称) こども未来館とは？

(仮称) こども未来館とは、これまで施設が狭いことが問題となっていたプラネタリウムのある中部公民館内の「児童センター」と「中央子育て支援センター」を移転し、中央児童館や子育て支援の拠点としての機能の拡大・充実をはかるとともに、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援をおこなうために整備するものです。

高齢者後付け急発進等抑制装置設置補助事業

新規

65歳以上の市民が運転する車両に後付けの急発進等抑制装置を設置する費用の一部を補助



地域協議会設立推進・活動支援事業

地域助け合い交付金、市職員による地域パートナー制度などで設立の推進、活動支援(全16小学校区のうち11小学校区で設立済み)



ヴィジョン2

「健康・支え合い循環都市」

認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

新規

認知症高齢者等の事故等による賠償責任を補償する保険に市が全額負担して加入



救急隊用多言語音声翻訳アプリ導入事業

新規

救急自動車にタブレット型端末を配備し、救急隊用多言語音声翻訳アプリを導入



多文化共生推進事業

拡充



多文化共生推進プランの改定、市国際交流協会の運営支援

新 外国語版生活情報誌にベトナム語を追加

今後もより良いこまきを実現するため色々な事業が目白押しコマ!



子ども医療費入院費助成事業

拡充

入院費助成の対象年齢を拡充(15歳の年度末→18歳の年度末)



(仮称)第3老人福祉センター建設事業

実施設計等(令和5年中に完成予定)



図書館施設建設事業

令和2年度末の開館を目指し、建設工事、開館準備



小牧駅周辺整備事業

駅西駅前広場整備工事、小牧駅地下駐車場エレベーター設置工事、市道小牧駅西線道路整備工事など



ヴィジョン3

「魅力・活力創造都市」

新図書館と現図書館を比較!

- ・約3倍の建物面積
- ・約2倍の収容冊数
- ・約4倍の座席数
- ・カフェスペースの設置

公募の結果
スターバックス コーヒー ジャパン に決定



↑新図書館1階エントランスホール



空家等対策 推進事業

拡充

- 新 空家等対策計画の改定
- 新 木造の老朽空き家および危険空き家を除却する工事費の一部を補助



市営駐車場施設 管理事業

拡充

- ラピオ地下、浦田、小牧駅地下駐車場および新図書館の地下駐車場の管理
- 新 小牧駅周辺の市営駐車場の満空情報を市ホームページ等で提供するための環境整備

市営駐車場施設 整備事業

拡充

- 新図書館の建設に合わせ、地下に市営駐車場を建設
- 新 ラピオ地下駐車場の出口精算無人化、小牧駅地下駐車場の車両在否センサーの整備等

郷土資料 デジタル化事業

新規

小牧の郷土史家・津田応助の収集した「象山文庫」など約100タイトルをデジタル化



中部フィルハーモニー 交響楽団補助事業

新規

地域に根ざしたトップクラスのオーケストラを目指した取組を支援



小牧駅周辺の今後の整備にも期待コマ！
今から完成が楽しみコマ～！



魅力と活かに溢れた小牧を実現するコマ！今後に期待コマ～！



こまき巡回バス 運行事業

拡充

令和2年12月にルート・ダイヤの再編（市内全域19コース→23コース）



(仮称) 農業公園 整備事業

基本設計（令和5年度一部供用開始予定）



施政方針の おわりに

小牧市は、地域ブランド戦略の中で、「夢・チャレンジ始まりの地小牧」を、まちのブランドコンセプトとしています。

私たちのまち小牧は、戦国の昔、織田信長公が小牧山に城を築き、天下統一に向けて夢・チャレンジの第一歩を踏み出した地であり、また、昭和30年代、伊勢湾台風の甚大な被害からの復興にあたり、先人は全国に先駆けて工場誘致条例を制定し、トヨタ・ダイハツを誘致して、多くの企業を誘致し、今日の産業都市こまき、全国有数の健全財政を誇る豊かなまちとなる、その礎を築きました。

当時の小牧市は、財政は非常に厳しかったと聞いていますが、そうした中であつても、先人は、まちの将来に大いなる夢を描き、未来に投資し、果敢にチャレンジして、自ら未来を切り拓いたのです。



キミと一緒に、育っていききたい。
Komaki

窓口業務拡充事業

拡充

味岡支所、北里支所業務拡充（国民健康保険、子ども医療、後期高齢者医療制度、国民年金、児童手当に関する受付と交付業務）※令和2年10月～（篠岡支所は平成30年10月から実施済み）

新 死亡に伴う各種手続きを行うワンストップ窓口の設置
※令和2年8月～試行、10月～本格実施



ごみ分別簡素化

・資源化促進事業 **拡充**

剪定枝類・雑がみの資源化促進、区のごみ集積場での古紙・古布類の集団回収

新 スプレー缶類の排出方法を見直し（穴開け不要）



行政改革と 市民サービスの 向上

業務改善事業

新規

業務の棚卸しを行い、業務プロセス・手順の見直し、ICTの活用を推進



マイナンバーカード 交付促進事業 **拡充**

本庁舎1階フロアに申請受付専用ブースを設置、マイキーIDの設定支援を実施など窓口体制の拡充

新 市内企業等へ出張し申請を受付

市民サービスの向上にも全力で取り組むコマ！色々な事業を予定しているコマ～！



納税推進事業 (PayB 導入事業) **新規**

スマートフォン決済アプリ「PayB」を使った市税等の納付を開始



AI-OCR および RPA 導入事業 **新規**

定型処理でかつ専門知識を求めない業務に導入し、自動化により効率化（初年度は5業務＋アンケート調査集計業務に導入）

小牧市は、これまで、多くの先人たちの弛まぬ努力と挑戦により、逆境をチャンスに変え、幾多の困難を乗り越えてきた誇るべき歴史があり、まさに「夢・チャレンジ始まりの地」であります。

時代は異なりますが、今を生きる私たちも、まさに次代を切り拓く新たな挑戦により、困難な課題を克服し、子や孫の世代に明るい希望の未来につながる道筋を示していくことが求められているところです。

私は、郷土の先人が培ってきた「チャレンジする精神」をしっかりと引き継ぎ、閉塞感を打破し、希望の持てる持続可能な社会、互いを思いやり支え合える社会、一人ひとりが多様な形で活躍できる社会、そして、誰一人取り残さない”多様性と包摂性のある社会を、市民の皆様とともに一歩一歩、着実に築いてまいりたいと思います。

そして、安全で、誰もが安心して暮らし続けることができる小牧市、こども達をはじめすべての市民の皆様が、笑顔で夢を描き挑戦できる小牧市、「住みたい」「働きたい」「訪れたい」魅力と活力あふれる夢ある小牧市の創造に、全力を傾注してまいります。

議員各位、並びに15万余市民の皆様のご理解とご協力を重ねて衷心よりお願い申し上げます。

私、私の施政方針といたします。